



はじめに

たはら男女共同参画ニュース『Walk Together ウォーク・トゥギャザー』は市民の皆さんに男女共同参画について理解していただき性別に関係なく、あらゆる社会活動に意欲を持って参加できる「みんなが自分らしく輝けるまち・たはら」の実現を目指すため男女がお互いの理解を深められるよう、身近な話題をお届けします。

街の話題。2012

第4回 男女共同参画フェスティバル

平成23年8月28日(日)・田原文化会館



▲にぎわう各団体の出展ブース

市民活動団体が、活動紹介や他団体との交流を行い「みんなが自分らしく輝けるまち・たはら」の実現を目指すために開催しました。市内外の団体や個人が参加し、手作りお菓子や人形、花木の販売などを行いました。また、太極拳や人権啓発の紙芝居の披露、風呂敷や割り箸を使ったワークショップでにぎわいました。

午後からは「田原市男女共同参画映画祭」を開催し、自分らしく生きる6人の女性の姿を描いた作品「フラワーズ」を上映しました。この映画祭は、女性の生き方などをテーマにした作品を通して、来場者の皆さんに男女共同参画社会について考えていただける機会とすることを目的としています。上映前には、成章高校吹奏楽部の皆さんに演奏していただき、主催の田原市男女共同参画推進懇話会・中村都祁子会長と、来賓の鈴木克幸市長のあいさつが行われました。



▲中村会長(右)と田原市長(左)

第14回田原市男女共同参画推進懇話会

平成23年10月20日(木)・田原市役所



▲取り組み状況を報告する懇話会委員の皆さん

今回の会議では、委員の皆さんから「男女を隔てる意識の解消」に向けた取り組みと、市から施策の取り組み状況が報告されました。

各委員からは、それぞれの所属団体や日常生活の中で実践している取り組み、男女の人権や子育てに関するセミナーに出席した内容の報告がありました。

オブザーバーの武田圭太氏(愛知大学教授)からは、学会で発表されたご自身の調査研究を基に講話をいただき、「現代社会には、いまだ“男は仕事、女は家庭”という意識が残っている。そのような伝統的価値観を持った人を認め、共存し、男女共同参画社会にうまく取り込んでいくことが大切」とお話しいただきました。

また、市民アンケート調査の結果から、若者の男女共同参画の意識の低下などが課題として浮かび上がりました。